

宝田芳浩選手 **CMSC 札幌** 激戦区のAⅣクラスを制し全日本ダートトライアル第1戦優勝。

今季開幕戦となる全日本ダート第1戦が、4月21日栃木県黒磯市の「丸和オートランド那須」で開催されました。今季からA・B車両とも排気量によるクラス区分が大きく変更された影響もあり、エントリー台数も大幅に増加。計161台が参加しました。三菱車は計88台が参加し、結果はAⅡ・Ⅲ・Ⅳ・CⅢの4クラスで圧勝。相変わらずの“三菱車強し”を印象づけました。

当日朝、この季節には珍しく小雪がばらつきましたが、第1ヒートスタート時にはやや湿ってはいますがドライ状態。第2ヒートには完全ドライとなりました。AⅢクラスは過去に数々の戦績を残したミラージュ・サイボーグターボのCMSC岐阜・三枝光博選手が優勝。三枝選手は5月の第3戦(信州)でも2勝目を挙げています。AⅣクラスは参加24台中ランサーEVⅢが19台を占め、ランサー同士、CMSC同士の激戦の構図は昨年そのまま。今季初戦で勝利したのはCMSC札幌・宝田芳浩選手。2位にはCMSC岐阜・榎田正文選手。宝田選手は昨シーズンのシリーズ4位。第3戦では3位に入り、3戦終了現在ポイントトップです。'94年に獲得したチャンピオン。今季は奪回が期待できそうです。



ポイントトップを走る宝田選手の走り。右上、初戦勝利の宝田選手。

CMSC埼玉 田口幸宏 全日本ラリー第3戦優勝記

「平常心」これが今年のキャッチフレーズです。勝ち運に見放されて早1年以上が過ぎようとしていました。速さとナビゲーター減点にはそれぞれ自信のある我がクルーではありますが、マシントラブル、コースアウトによりなかなか結果を残すことが出来ず、そろそろ焦りを感じてきていました。そこで、上記キャッチフレーズを考えイベントにリラックスして望みました。思惑通り、岩はゴロゴロ、穴はポコポコの悪路のコースに平常心のないクルーはドライビングミスを連発し、「平常心」を保った我がクルーが優勝する事が出来ました。走りはまだまだ満足のいくレベルに達していませんが、新型ミラージュの真価を問われる初めてのグラベルイベントで記念すべき1勝目を取ることが出来、非常に満足しております。まだまだ生まれたばかりの発展途上の車ではありますが、自分の走りに合わせたセッティングを早く見つけ、更なる進歩を遂げ、連勝街道まっしぐら……となるようがんばりたいと思います。

全日本ラリー第3戦優勝!



平常心で夜も快走。右下、表彰式での田口選手(左)。

今季好調。CMSC道北 鎌田豊選手、 新型ミラージュで全日本ラリー第4戦優勝!



'96全日本ラリー選手権の前半戦最後のラリーとなる「モンレー'96」が、5月25～26日群馬県甘楽郡の約200kmのコースに計59台が参加して開催されました。今年のコース設定は3ステージ、10ヶ所のSSが設けられました。

Bクラスは新型ミラージュを駆るCMSC勢同士の激戦が予想されました。第1ステージからCMSC埼玉・田口幸宏選手、CMSC鹿児島・原口真選手、CMSC道北・鎌田豊選手が三つ巴の大接戦を展開。勝負は夜8時30分過ぎのスタートとなる第3ステージに持ち込まれました。SS5を終わって3位につけていた鎌田選手はSS6、7で立て続けにトップタイムをマークして一気に首位に。ここからは逃げの一手で原口、田口両選手を振り切り、今季2勝目を挙げました。鎌田選手はこの第4戦が新型ミラージュでのデビュー。今季はここまで全戦3位以内で表彰台に上がっており、2年ぶり2回目のチャンピオン獲得に向けて優位に立っています。

今季は全て3位以内、好調の鎌田選手と愛車の走り。

CMSC広島 5月19日

CMSC広島ダートトライアル'96

昨年とは打って変わったのピーカン天気、暑さとホコリの中行われたF地区シリーズ第4戦。参加台数は非常にサビシー98台。コースはスーパーイケイケハイスピードでエントラントの評判はVery Good! AIIクラスではオフィシャルを蹴って出場の佐々木優選手が1位は逃したものの、2位から6位は全部ミラージュ。続くAIIIではミラージュの次朗丸選手が開幕戦からのぶっちぎり4連勝。AIVもラリードライバーからダートトライアルになった二野下選手の1位以下ランサーが上位を独占し、やっぱり三菱強し! なんとか終わった今回のイベントでは期待外れ(?)の転倒ゼロ。いろいろと反省する点がありますが、無事終わって良かったです。来年はもっと台数を集めて、盛大で豪快なイベントを行おうと思います。その時は皆さんヨロシクお願いします。

(CMSC広島 平原和幸)

上位独占、三菱強し!



写真左上、AII2位の佐々木選手の走り。左下、三菱賞表彰。右、AIV1位二野下選手の快走。

CMSC帯広 3月10日

雪上練習会

十勝インターナショナルスピードウェイ内に設置されたラリーコースを借り、ウィンターシーズンを締めくくる雪上トライアル練習会を行いました。今年は北海道の冬のトライアルではスパイクタイヤが復活したこともあり、練習会もスパイクタイヤを持ち込んでの豪快な走りを堪能することができました。スパイクタイヤが復活したと言っても既にタイヤを手放した人も多く、持っている人も使い古しのタイヤを引ッ

スパイクタイヤ復活!

張り出しでの参加で、いつまで続けられるかわからない状態では寂しい限りです。

ウィンターシーズンも終わりいよいよ本格的なダートシーズンですが、最近ではレースに参加するチーム員も増えてきたので、夏にはサーキットコースを借りての練習会を計画しています。

(CMSC帯広 中村洋次)



CMSC岐阜 三枝光博 全日本ダートラ第1戦優勝記

'96年よりクラスの排気量区分が変わると言うことで、年明けより競技車両渡しに走り回る日々が続きました。CMSC岐阜で活動する限り三菱車に乗りたい、三菱車なら4WDに乗りたい、でも金が無い。そんな条件からAⅢクラスの旧型ミラージュ(C73A)で参戦する事になりました。しかし何しろ旧型のために部品が無く、セッティングが思うように決まらず大変苦労しました。

CMSC群馬 倉持直美 全日本ダートラ第1~2戦参戦記

開幕第1戦までの約2ヶ月間、毎週毎週車のセッティングをして、車、タイヤ、ショック、それに私自身の走りについても心配など無い位、丸和のコースを走り込みました。「シティから乗り換えた割には短期間でよくここまでミラージュを乗りこなせる様になったナ」と思いつつ第1戦に臨みました。後は自分の気持ちだけを盛り上げれば……。でも倉持直美というドライバーは「ヨーシガンバルゾ〜」と思うとポカが多いので、リラックスして走ろうと心がけたら気持ちに甘えが出てしまいました。結局2本とも自分の思っていたタイムが出ず、結果はAⅡクラス28台中4位。周りの人は「開幕戦でのポイントゲット良かったね!」と喜んでくれましたが、私自身は何か納得の出来ない

CMSC浜松 相原保雄 全日本ダートラ第1~2戦参戦記

4月、いつになく好天に恵まれた丸和オートランドにて第1戦が開催されました。今シーズンは新車を購入しての参戦となりました(昨年末まで中古車にて参戦)。短期間のセッティングでこの試合に臨みました。当日はテスト時とは違ったスプリングを着け、タイヤも初めて履くタイヤという事で不安でいっぱいでした。それでなくてもこの丸和、相性の悪さはウルトラ級で今まで一度も良い成績が出せなかったのです(自分の努力が足りないのも事実)。

1TRY。路面はドライ(いつもと一緒だ!)。ドキドキがピークになってスタート。「おやっ?」いつもと違う。

CMSC広島 佐々木 優 全日本ダートラ第1~2戦参戦記

私は昨年より全日本ダートトライアルに参戦しています。昨年の全日本ダートラ第1戦九州が全日本デビュー戦で、ミラージュに乗りAⅢ4位になり、その後全日本ダートラを追いかけるようになりました。その後の成績はポイントがなかなか取れず、最終戦でどうか2位になることが出来ました。1年間で2回しかポイントが取れませんでした。やはり全日本はたいへんです。

今年も第1戦丸和に17時間かけて行き、25位。第2戦九州に8時間かけて行き26位と、とても疲れまし

旧型ミラージュで優勝!

大会当日は快晴という絶好のコンディションの中、開幕。何か勝てる様な予感の中でスタート。1本目、大きなミスも無く、予感的中でベストタイム。2本目、少し力み過ぎてタイムは伸びなかったものの、ベストタイムが出ました。全日本1戦目で優勝出来た事は大変嬉しいです。全国CMSCの皆さん、旧型ミラージュのいらぬ部品がありましたら分けて下さい。部品がなくて困っています。宜しくお願いします。



予感的中の快勝、三枝選手。

悔いの残らない走りを

第1戦目となりました。

1戦目の反省を踏まえて2戦目までの間自分の気持ちをいかに盛り上げられるかを考え、昨年走った時のビデオを見るなど走りについての研究やイメージトレーニングをしました。第2戦1本目、コーナーでの立ち上がりばかりを気にし攻める事が出来ず、後味の悪さが残りました。2本目、中間ポイントまでは攻める走りだったので後半でシフトミスでタイヤバリアへと……。私の悪い所が全部出たかたちの走りになり反省ばかり……。結果も29台中21位と散々な結果となってしまいました。

「どうして本番になると練習の時の様な走りが出来ないんだろう」と自分が情けなくなりますが、1戦1戦悔いを残さない走りをして、最後に「あの時悩ん



常に前向きな倉持選手。

で良かった」と思えるように、見てる人に感動してもらえそうな走りができるドライバーに成長していきたいと思っています。残りの全日本戦も頑張りますので応援宜しくお願いします。

新車で第1戦入賞!

何だか良い感じだと思いました。あっと言う間にゴール。まづまづのタイムが出ました。2TRY。今までの丸和の中で一番自分らしく走れた気がしました。第1戦丸和で初めて3位に入賞。

5月、1戦丸和で気を良くして九州入り。今回は少しリラックスして1TRYを走りました。(悪くない。車は上出来、後は自分だ。)2TRY前、コースを歩きました。路面はドライ。(さて、タイヤは?)とても悩んだ結果1TRYのまま走る事に決めました。結果は裏目に出ました。なんてたって車が思うように走らない。2戦目は6位に終わりました。

もっと走り込んで、状況判断を正確に身につけて



今後が楽しみな相原選手。

今後の戦いに臨むつもりです。

P.S.第3戦信州は2位につけました。CMSC浜松事務局より

CMSC広島に入会して

た。しかし苦手な丸和はともかく、九州は1本目は6位だったので、懲りずに今年も全日本ダートトライアル驚異の一発男(by JAFスポーツ)として頑張ろうと思います。

CMSC広島に入って感じたことは、全日本や地区戦でダートトライアル、ラリー等を本気で走る人を、本気でサポートしていただけるようなシステムになっており、とても大きな力になってくれます。その上、クラブ員に岩根つもるさん、河内渉さんから凄い人達がいてとても励みになります。また車もラリーアートカラーにさせていただきとてもカッコ良くなりました。どうも有り



今後に期待したい、佐々木選手。

難うございました。今年も一生懸命頑張りますのでCMSCの皆さんどうぞよろしくお願い致します。

CMSC仙台 高橋 滋 ミラージュ東北シリーズ第2戦優勝記

ミラージュ東北シリーズフォーラスカップ第2戦が5月18～19日にスポーツランドSUGOで開催されました。1週間前にNEWカラーに仕上がったマシンはセッティングがうまく決まり、雨さえ降らなければポールポジションはいただき!

予選は朝から小雨の降り続くあいにくのコンディションでしたが9周のタイムアタックで2番グリッドを射止めました。決勝は12周。コースはドライ。目の前には誰もいない。「今日は絶対に行ける!」スタートはちょっとミスしましたがグリッド順に1コーナーへ。馬の背コーナー手前でポールの水沼選手をパスしストップ。2番手の松浦選手が終始プレッシャーをかけて

シリーズチャンピオン目指して



高橋車と喜びのシャンパンシャワー。

きます。コーナーではリードしてもストレートでは差を詰められます。大事にレースを運び、結果1位でゴール。初めての優勝を獲得しました。SUGOのコースレ



コードを塗り替えポイントランクもトップ。シリーズチャンピオンという目標達成の為に、今後も全力投球で頑張ります。

CMSC香川 4月7日

'96CMSCアストロトリアル

四国地方選手権第2戦は、今回も前日夜半からの雨の為、第1ヒートは完全ウェット。しかし第2ヒートになると日も差ってきて完全ドライの所もあり、路面の変化が大きな競技会になりました。AIIでは、今回からCJ4Aで参戦した藤沢選手が1位。2位には同じくCJ4Aの

新旧ミラージュが大健闘

松原選手(CMSC香川)が入り、新型ミラージュが上位を独占。AIIIでは、旧々型ミラージュ4WDが3位に入る大健闘。今年からのクラス変更で、車種がバラエティーに富んだシリーズ戦になりそうです。(CMSC香川 白井 修)



左からAII・AIII・AIVの表彰。

CMSC青森

'96春の活動報告

例年になく桜前線の北上が遅れたのが功を奏し、5月3日弘前公園の桜が満開の中、クラブ設立25周年を祝いました。今回は特別ゲストに三菱自工、乗用車開発本部副部長の北根幸道氏をお招きし、三菱とモータースポーツについてお話していただきました。特に三菱のモータースポーツとの初期からの関わりに関する話には感慨深いものがありました。続けて場所を移し、記念のお花見会を開催。ささや

5月26日 '96CMSCジムカーナ岩木

今年もCMSC青森主催によるジムカーナをシリーズ戦として3戦開催することになり、第1戦が5月26日岩木山スキー場の駐車場で行われました。昨今の参加台数の減少傾向が心配されましたが、クロード部門を含め52台とクラブシリーズ第1戦としてはまあまあというところでした。

天気も良く絶好のコンディションのもと、参加した

2月24～25日 雪上ヤングドライバーセミナー

「ブレーキを踏んでも止まらない、ハンドルを回しても車が曲がってくれない、こんなツルツルすべる雪道、アイスバーンに冷や汗を流すのもこれでお別れ」青森県弘前市運動公園駐車場において、雪道の安全ドライブ、雪道についての知識、自分の車の基本操作等を体験するセミナーが、当クラブの協力、弘前市中央公民館主催により開催されました。広い駐車場に特設コースを作り、一般参加者が雪道でのフルブレーキ、フル加速、スラローム走行等を体験。デモ走行ではクラブ員の超ドリフト状態走行に同乗し興奮する参加者もあり、短い時間ではありましたが、お互いに楽しい一日でした。セミナーの様子は翌日の地元紙にも掲載されました。(CMSC青森 伴 英憲)

クラブ設立25周年

かではありましたが、思い出に残る25周年記念となりました。今後も地域でのモータースポーツ活動、クラブ活動を続けていきますので、皆様ご支援、ご指導をお願い致します。(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)



選手はパイロンコースをひとつひとつ楽しむ様に走り、その技を競い合いました。またコースのすぐ下で少し遅めの山桜を楽しむ行楽客も、ジムカーナを見物に訪れていました。

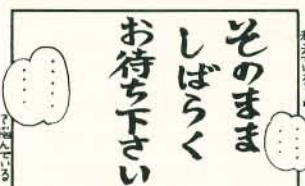
'96CMSC青森ジムカーナシリーズは6月23日、8月11日の2戦、モータースポーツ入門篇として続けていきますので、近隣のCMSCメンバーの方参加してみませんか。(CMSC青森 小館 久)

が、お互いに楽しい一日でした。セミナーの様子は翌日の地元紙にも掲載されました。(CMSC青森 伴 英憲)



地域の活動にも貢献。

CMSC島根 古藤浩美 コトーの連続コーナー ②



CMSC山形 小川日出生選手初優勝! N1耐久シリーズ第2戦ランサーで制覇。



'96スーパーN1耐久シリーズ第2戦は4月13～14日宮城県仙台ハイランドで開催されました。決勝当日、午前中はこの時期には珍しく雪でしたがスタート時のコースはドライ。レースは90周。出走35台中12台がリタイアするサバイバルレースとなりました。その中、CMSC山形・小川日出生選手率いるランサーEV IIIは完走を果たし、クラス2で初優勝しました。これでランサーはクラス2・2連勝となりました。「レースでランサーで勝てた事は、自分にとっても、また同じCMSCの仲間にとっても価値あるものと思います」と



小川選手。

5月5～6日T1サーキット・英田での第3戦でもクラス2で2位に入り、6月8～9日第4戦富士スピードウェイに臨みました。しかしあいにくの雨の中、無念のリタイア。しかしクラス2・ポイントランキングでは、3戦までの好成績により1位をキープしています。また、ここま

念願の優勝。小川選手の走り第4戦のパドック風景。

でランサーは4戦全勝。戦闘力の高さ、耐久性がサーキットでも注目を集めています。小川選手は「まさかのエンジントラブルでリタイアしてしまいましたが、現在もポイントリーダーです。チャンピオンを狙います」と力強いコメント。今後のレースが楽しみです。

CMSC山形 5月26日

スピードマインドジムカーナ

蔵王リゾートサーキットにて、BF goodrich CUPスピードマインド東北シリーズ第2戦を開催しました。今年では地区戦を降り、初級向けの競技開催となりました。ジムカーナは初開催が地区戦でそれ以来5年続けてきたわけですが、たまには初級向けのジムカーナ戦を開催してはとクラブ員多数の意見があり、今回の開催となりました。

競技内容ですがこのシリーズはA車輛のみで、その中でもBクラス（車輛はAでタイヤがノーマル）とFRクラスなどがあり、派手なドリフトやスピンなど見る方にとっても大変おもしろい大会となりました。

初心者を集めて楽しい1日

初心者が半数ぐらいなので多少ミスコースなどがありましたが、無事終了する事が出来ました。三菱車はA IIクラスにミラージュが7台、A IVクラスにランサーエボIIIが6台、その他4台が出場しましたが、ミラージュが1・4・6位、ランサーが1・3・4位と上位を占めました。

表彰式もエントラントは豪華な賞品を手にし、大変喜んでいました。スポンサーの皆様、有り難うございました。



写真左、賞品を手に喜びの表彰式。

次の主催イベントは秋のダートラ戦です。皆さんふるってご参加下さい。(CMSC山形 菅野 茂)

CMSC栃木 5月19日

'96スリーダイヤモンドジムカーナ

'96スリーダイヤモンドジムカーナを日光スピードパークにて開催しました。前日の雨も夜半には上がり、路面も競技を開始する頃にはほとんど乾いて、今日一日の熱い戦いを予感させます。毎回苦労しているコースレイアウトですが、パイロン3本をうまく使ったスピード感のある設定で、エントラントにはおおむね好評だったようです。

さて競技は当クラブの江上選手の運転するランサーエボIIIによるコースクリア兼デモンストレーションから始まりました。江上選手は今年関東地区のAシードとなり、関東地区選手権と全日本選手権に参戦している有望なドライバーです。とりあえず目標となるタイムをたたき出します。引き続きA Iクラスから

クラブ員が大活躍

順にスタート。選手それぞれにコースを下見して頭の中にはしっかりと最速のコースラインがインプットされているはずなのですが、いざグリーンランプが点灯すると頭の中は真っ白になってしまう選手も少なくありません。競技はA II、A IIIと順調に進行。今年から四輪駆動の車はA IVクラスとなり、ほとんどランサーのワンメイクの感を呈しています。その中に今年は今当クラブ期待の下谷選手の顔も見られます。昨年の全国大会のジムカーナで並み居る強豪を押さえて優勝をさらって行った選手です。今年には栃木シリーズチャンプを狙うとの事なので、当クラブの会員ではありますが競技に参加させる事にしました。結果は期待に応じてA IVクラス優勝。今季シリーズ3戦にして早くも2勝を挙げ、チャンピオン街道まっしぐらで



三菱賞1位下谷選手(左)と走り。

す。江上選手と共に今後の活躍が楽しみです。

(CMSC栃木 町田俊英)

CMSC群馬 3月17日

'96CMSCトライアルIN那須

'96JMRC群馬ダートシリーズ第1戦を丸和オートランド那須にて開催しました。第1戦にもかかわらず、新型ミラージュ、FTOを含む122台ものエントリーがありました。当日はCMSC群馬のイベントらしく(?)どしゃ降りの中行われ、雨に慣れているオフィシャルがスピーディーな運営を行い、大きなトラブルも無く終了。テクニカルなコースを果敢に攻め、元気いっぱいイベントでした。

今回初の試みとして各クラスの最後に、コースクリアの各マシン、キャロッセスーパーDの大井義浩選手、ランサーEVⅢの荒井信介選手と大井こずゑ選手、新型ミラージュの倉持直美選手が、大勢のギャラリーが固唾を飲んで見守る中、全日本選手らしい熱い走りを披露。エントラントもギャラリーもライン取

雨中の元気イベント



写真左上、三菱賞表彰、左下、レディースクラスの表彰、右、笠原選手の走り。

りや車の動きに大注目。納得、大満足、大好評でした。主催者の皆さんぜひお試しください。ますます元

気なCMSC群馬。今後も楽しいイベントを企画、運営して行きます。(CMSC群馬 山口利久)

CMSC大阪 4月21日

ジュニアシリーズ第3戦ダートラ

'91年から活動を始めた我々のクラブも5年目となり、恒例行事として名阪スポーツランドにて近畿地区ジュニアシリーズ第3戦ダートトライアルを開催しました。とは言いましてもCMSC大阪は準加盟という訳で、加盟クラブとの協催で行いました。

ここ最近の名阪のコースはコンディションが悪くコース整備に苦労しましたが、走り甲斐のあるコースが出来、エントラントにも大好評。最近のエントラント

走り甲斐あるコースが大好評

数減少傾向の中で、今回は100台強の出走台数となりました。各ポストのオフィシャル達の砂だらけになりながらの頑張りで、事故も無く競技を進められました。三菱賞は総合でも1位だったAⅣクラスのランサーEVが受賞しました。

オフィシャル及び運営に携わって頂いたクラブ員の皆様とご支援頂いたCMSC本部様に対しましては、この誌面をお借りしてお礼申し上げます。今後もさらに頑張りますので宜しくお願いします。(CMSC大阪 杉本達也)



表彰式でフィナーレ。

CMSC福島 5月26日

CMSCダイヤスタージムカーナ

今回のイベントはタイトルも「新潟・福島・山形・宮城4県ラウンドシリーズ」と言います。今年から始まったシリーズの今回は第2戦。このシリーズはただ4県にまたがるのではなく、B地区・C地区にまたがったシ

新シリーズをしっかりと運営

リーズという今迄に無いものとなりました。当日は絶好のジムカーナ日和でした。台数はちょっと寂しかったのですが、クラブ員全員いつものようにきっちりイベントをまとめました。

(CMSC福島 須田行雄)



三菱賞表彰。

連覇へ道北好ダッシュ。さて今年の勝者は?

'96チャレンジカップ

道北が連覇へ向けて好スタート。大阪、香川、群馬と続いています。別部門でも昨年好評だった選手

がそのままの勢いを維持しているようです。さあ、今年もゴール目指して頑張りましょう。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
道北	833				
大阪	609.5				
香川	495				
群馬	468.5				
帯広	376				
青森	35				
福島	328				
山形	31				
浜松	286				
広島	254				
岐阜	212.5				
札幌	14				
鹿児島	119				
島根	103				
埼玉	100				
仙台	77				
愛知	70				
栃木	52				
岩手	40				
千葉	2				

●ラリー・ドライバー部門

選手	所属	ポイント
鎌田 豊	道北	134
鎌田 卓麻	道北	80
細村 謙一	群馬	76
小林 康弘	帯広	74
田口 幸宏	埼玉	66
原口 真	鹿児島	66
奴田原文雄	札幌	52
船津 康一	群馬	29
大沢 克行	帯広	28
高桑 直洋	道北	25

●ラリー・ナビゲーター部門

選手	所属	ポイント
細村 祐子	群馬	76
伊吹 浩明	帯広	60
朝岡 達也	愛知	60
川村 知恵	道北	25
吉田 俊彦	岩手	13
生井 重男	帯広	13
中村 洋次	帯広	12
安藤 朋司	岐阜	10.5
杉山 聡	道北	10
早瀬 要治	岐阜	7

●ダートトライアル部門

選手	所属	ポイント
秋間 忠之	大阪	313
小出 久美子	大阪	244.5
高竹 優之	香川	140
赤羽 政幸	山形	130
松原 宏	香川	108
森 新次	香川	94
佐々木 優	広島	84
三枝 光博	岐阜	82
宝田 芳浩	札幌	76
河内 渉	広島	70

●ジムカーナ部門

選手	所属	ポイント
小館 久	青森	160
丹羽 裕一	道北	110
山下 亘	道北	100
須田 行雄	福島	95
大久保 法世	道北	94
平山 敦朗	浜松	87
佐々木 聖太郎	青森	68
久保田 明	青森	68
下谷 光俊	栃木	52
田口 玲	道北	50

●レース部門

選手	所属	ポイント
小川 日出生	山形	100
高橋 滋	仙台	64
笠原 昌二	山形	16
東島 清二	山形	8
山川 敏宏	山形	5
森田 充	山形	4
丸山 晃	浜松	4

●ポイントのつけ方

ポイント	順位										11位以下	リタイア
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位		
A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

リタイアには予選不通過も含む

A = 全日本選手権(含む、レディースクラス)、地方選手権(除く、レディースクラス) 但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ レースにはフォーミュラ・ミラージュ、ミラージュカップ、NI耐久レースを含む B = それ以外の競技会